令和８年度　第１回安曇野市歯科口腔保健部会　会議概要

１　会議名	安曇野市歯科口腔保健部会
２　日　　時	令和８年９月 10 日（木）午後７時 00 分から午後９時 00 分まで
３　会　　場	豊科公民館　大会議室
４　出席者	飯嶌委員、山本委員、髙橋委員、細萱委員、中村委員、寺島委員、下田委員
５　担当課出席者	保科保健医療部長 健康支援課　二木課長、山本係長、草間係長、小林係長、松田主査、 石川歯科衛生士、中田歯科衛生士、関根歯科衛生士 高齢者介護課　市川課長補佐、臼山歯科衛生士 障がい者支援課　関課長補佐
６　公開・非公開の別	公開
７　会議概要作成年月日	令和８年９月 30 日

協　　議　　事　　項　　等

１　会議の概要

（１）開会

（２）委員の委嘱

（３）保健医療部長あいさつ

（４）新部会長の指名について（報告）

（５）部会長あいさつ

（６）専門部会（歯科口腔保健部会）について

（７）協議事項

①令和７年度歯科保健事業報告について

②令和８年度歯科保健事業計画について

③歯科事業における連携について（情報共有）

④その他

（８）閉会

２　協議事項の概要

①令和７年度歯科保健事業報告について

【主な意見】

（委　員）

・妊婦歯科健診は受診者の属性を把握できる詳細なデータ分析や、第二子以降の妊婦の受診を促す案内の工夫が必要。シニア歯科健診も、複数年の継続受診者数など実態が見えやすい集計方法への見直しが必要。

（事務局）

・妊婦歯科健診は受診者の属性を把握できる体制が整っている。第二子以降も継続して受診する母親が増えるよう、状況の把握と対策を行う。

②令和８年度歯科保健事業計画について

【主な意見】

（委　員）

・現在、会議や研修会ではオンライン等の手法が中心となっており、特に若年世代ではデジタルツールの活用により受診率向上につながる可能性が高い。市の教室等におけるオンライン活用は検討されているか。

（事務局）

・高齢者の教室はおおむね 65 歳以上が対象のため、動画配信等の対応は難しく、現状は対面で実施していく方針。若年世代への活用については今後検討していきたい。

（委　員）

・高齢者の教室にお試しで単発参加できるようにしてほしい。

・歯科医師会の研修等で教室での検査や訓練法の話をしてもらえると、内容などを理解でき勧奨しやすい。

・歯科医院の待合室などに貼れる、大きいサイズの教室の日程表があると良い。

・シニア歯科健診の対象年齢に 78 歳を追加してほしい。

・訪問看護で歯科の介入がない居宅を訪問する際に、口腔内のチェックを行っているか。

（委　員）

・訪問看護でも口腔内状況の把握は重要だが、介護保険の口腔加算は制度的に利用しづらく、広まっていかない現実があり、歯科との連携をどうしていくべきか迷う部分がある。

・嚥下の評価や口腔チェックの方法など、歯科関係者との情報共有や指導の機会、ケアマネへの研修の機会があるとありがたい。

（委　員）

・フッ化物洗口の実施率が減少傾向にあるが、洗口を拒否する児童生徒の特徴は？

（委　員）

・独特の匂いや味が苦手であること、高学年になると昼休みの遊び時間を優先したいといった理由。また、給食後の多忙さもある。物品の工夫により、以前より実施しやすい体制は整っている。

（委　員）

・20 代は進学の関係で長期休みに帰省する人が多く、現在の実施期間では夏休みにしか対応できないと思うため、個別健診の実施期間を延長することは可能か？

（事務局）

・実施期間については、今後の検討課題としたい。

③歯科事業における連携について（情報共有）

【主な意見】

・20、30 代の口腔内の汚れが目立つなど、若年世代へのアプローチに難しさを感じている。市と連携しながらフォローアップできる体制づくりを検討してほしい。

・医科とは術前の歯科健診等で連携しているが、行政ともさらなる連携が必要。メールや LINE などを活用して気軽に相談してほしい。

・学校歯科指導を通じて子どもから大人への啓発を促すことや、医科健診時の歯科相談窓口の設置、日々の歯科通院時における指導など、あらゆる機会を捉えた周知が必要。

・ケアマネや看護師への啓発を進めるとともに、歯科医師や歯科衛生士とメール等で気軽に相談できる窓口や体制が整うと良い。

・安曇野赤十字病院での VF 検査や歯科衛生士訪問の連携事例があるが、活動の周知が課題。今後は市の会議での顔つなぎを進め、高齢者がかかりつけ医や歯科スタッフの誰にでも気軽に相談し、密に連携できる体制が整うと良い。

・毎年の歯科健診や歯科指導を丁寧に行っていただきありがたい。学校だけでは対応が難しい部分をフォローしてもらいながら取り組めている。

④その他

・事務局より、糖尿病連携手帳について紹介

【主な意見】

特になし